＊1　滋賀県に於ける未熟児の研究（其2）

滋賀県立短大　佐藤美智栄

1　滋賀県に於ける未熟児出現頻度並びに死亡の実態を調査把握し乳幼児保健の向上を図るを目的とする。

2　昭和30年1月以降12月迄の出生児15,477名及び同期間の生後1年未満の死亡児675名につき分析検討す。

3　第1報に於て未熟児の出現頻度を体重別，季節別，性別に又その死亡に関しても同じく体重別，季節別，性別，原因別に，報告したので，今回は次の事項に就て報告する。

A　未熟児出現率

1　母の年齢と未熟児出現率を見ると，若年の母に多い，又出生順位別には，第一子に多い。

2　農家と非農家とを比較すると，前者に稍多く，季節別には春に多い傾向がある。

3　在胎月数別には，在胎月数の少い者程未熟児出現率が高い。

B　未熟児死亡率

1　在胎月数の同じ者に於ては，体重の大なる者程死亡率は低く，同じ体重者に於ては在胎月数の大なる程死亡率は少い。

2　高年者の母より生れた未熟児は死亡率が高い。